

平成27年度大分県建築士会別府支部事業報告

1. 別府湾岸景観調査（公益事業）
2. 歴史的建築物写真展（公益事業）
3. 折り紙建築教室（公益事業）
4. 横津神社調査（日出町からの委託事業）
5. 「元の安楽屋」建築概要調査（別府市からの委託事業）

別府支部 事業報告

事業名称	別府湾岸景観調査
事業費	¥400,000-

目的

別府湾岸の景観に関わる事項について、現地把握調査を行い、今後将来に渡って必要になるであろう[別府湾岸における景観保全基本方針]の先駆的基礎資料を作成するとともに、参勤交代航路と現代に及ぼす建築文化を考察する、というもの。

また、この調査により会員相互の知識の向上と親睦を図る。

概要

この湾岸調査は、平成27年11月15日と平成27年12月13日の2部構成によって行われました。

11月15日は海上調査で、チャーター船に乗船し、『楠港』を出発、『亀川港』『豊岡港』に上陸し調査。

その後『日出港』にて上陸し昼食後、致道館をはじめとする日出城下町を調査後『大神港』に上陸し調査、最後は杵築市の『守江港』に上陸し城下町を調査後、夕食をとりながら調査の意見交換を行いました。

次の12月13日は、寺林会員の指導のもと各自自転車に乗っての陸上調査とし、逆順路の杵築市『守江港』を出発、『杵築市街』『杵築別府湾リゾート』で調査活動を行い『糸ヶ浜公園』で昼食、再出発後は『大神港』『日出港』『豊岡パークキング』『上人ヶ浜公園』と調査を行い最終地である『別府スパビーチ』にて調査・解散としました。

当日夜には、別府市内で昼間の疲れを癒しながら反省会を行い調査は終了。本部への報告書は、各会員の調査内容を取りまとめて籠田会員が制作しました。

調査参加者は以下のとおり

○海上調査:新山 寺林 浅野 上岡 幸(孝) 籠田

○陸上調査:寺林 浅野 上岡 幸(孝) 籠田 加来 今橋 興田 秋吉 穂山(大分支部)

※敬称略



楠港(海上調査)



豊岡「覚正寺」(海上調査)



日出港(海上調査)



大神港(海上調査)



杵築市街(海上調査)



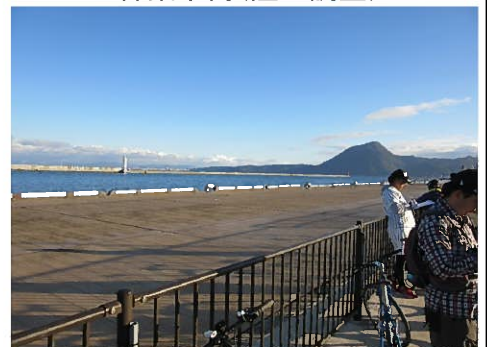
杵築市街(陸上調査)



別府湾リゾート(陸上調査)



金輪島(陸上調査)



上人ヶ浜(陸上調査)

別府支部 事業報告

事業名称	郷土に現存する近代和風建築パネル展(杵築市)
事業費	¥300,000-

目的

近代和風建築の調査を元に更に掘り下げて調査をし、優れた近代和風建築を広く市民に周知して、郷土の建築物に誇りを持ってもらうようパネル展示を行う。市内の公共性の高い施設に期間を定めて移動展示を行うとともに、次年度全国大会のパネル製作を兼ねる、というもの。
また、これにより会員の古建築への知識を深め情報を共有することにより親睦を図る。

概要

別府市、日出町と続いた『郷土に現存する近代和風建築パネル展』も、27年度は「杵築市」に場所を移して行われました。

対象となる建物は『大原邸』をはじめとして『中野酒造酒蔵』・『中野家(庄屋屋敷)』・『能美邸』・『染谷邸』など7件を写真撮影し、それらを額縁に収めて展示をしました。

初回は『大分銀行杵築支店』で、3月24日に設置を行い、続く2回目は4月5日『杵築市役所庁舎』玄関ホールに場所を移して展示を行いました。

移設時に大分銀行の支店長に伺ったところ、「お客様には大変好評で、みなさん写真を興味深げにご覧になっていました」とのお話でした。

移設終了後は、杵築市内にて反省会を行い、次回展示場所の打ち合わせや28年度の場所の選定なども話し合い、会員相互の親睦も深められました。

事業参加者は以下のとおり

○写真撮影: 寺林 有田

○文書作成: 籠田 小山

○展示作業: 三ヶ尻 寺林 浅野 上岡 幸(孝) 籠田 興田

※敬称略



大分銀行 杵築支店



設置作業(大分銀行杵築支店)



設置作業(大分銀行杵築支店)



設置状況(大分銀行杵築支店)



設置状況(大分銀行杵築支店)



杵築市役所 庁舎



設置作業(杵築市役所)



設置状況(杵築市役所)



設置状況(杵築市役所)

別府支部 事業報告

事業名称	折紙建築教室
事業費	¥78,880

目的

折紙建築教室は、『地域貢献』、『建築の魅力を伝えること』、また、『人材育成を図ること』を目的に取り組んでいます。
 地域貢献については、地域のイベントに出展することと、それぞれの地域に根付いた建築士会の活動として貢献していく目的があります。また、作業を通じて、建築に親しみを持ってもらい、建築の魅力を伝えていきたいと思っています。さらに、多くの子どもたちに建築に興味を持ってもらうことで、次世代を担う人材の育成を図っていくことも期待し活動を行っています。

概要

平成27年11月29日(日)、日出町中央公民館体育館で開催された第28回ひじ産業まつりにおいて、大分県建築士会別府支部の折紙建築教室のブースを設置しました。別府支部からは青年部を中心に8名が参加し、折紙建築教室へは小学生を中心に計61名の参加がありました。

参加者は以下のとおり

光永、今橋、秋吉、小山、中原、堀谷、後藤、河井

※敬称略

また、浅野支部長、幸副支部長も参画



折紙建築教室ブース



受付に見本を展示



建築士会もPR



小学生を中心に多数参加



小学生を中心に多数参加



小学生を中心に多数参加



作業に集中する子供たち



作業に集中する子供たち



士会会員は揃いの法被で対応

事業名称	横津神社現況調査事業
事業費	¥500,000-

目的

日出町にある「横津神社」は、名君と称えられた日出藩第3代藩主「木下俊長」を祀る神社で、そのご本殿は、霊廟として俊長公が葬られているといわれています。
この神社を、日出町教育委員会より委託を受け、拝殿・脇殿・社務所・渡殿・霊廟の各棟を調査し、平面・立面・断面図を作成し提出しました。

概要

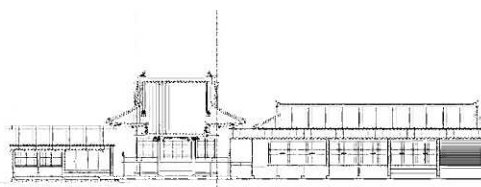
調査は平成27年12月19日に第1回実測調査を行い、霊廟：三ヶ尻・石田班、渡殿：上岡班、拝殿・神楽殿：幸・籠田・今橋班、脇殿：浅野班と棟ごとに分かれ作図のための採寸・写真撮影を行いました。
その後、各自作図を行い最終的に平成28年3月2日、第2回実測調査を行って各棟の配置関係の採寸をし、今橋会員が全体図をまとめました。
まとめられた図面は日出町教育委員会へ提出され、日出町の今後の文化財研究の一部になるとのことでした。
また、このような伝統工法で作られた建物の調査・作図を行うことで、各会員の知識の研鑽になり、燃り良い研修事業になったと思われます。

調査参加者は以下のとおり

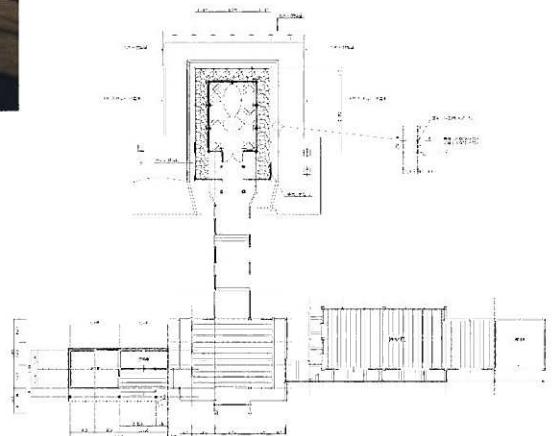
三ヶ尻、浅野、幸(孝)、上岡、今橋、籠田、石田
※敬称略



写真



本殿 東立面図 脇殿 東立面図 神楽殿 東立面図



別府支部 事業報告

事業名称	「元の安楽屋」建築概要調査
事業費	¥92,052

目的

「元の安楽屋」は鉄和温泉地区にある昭和初期に建築された木造2階建ての建物で、1階は湯治客向けの衣料品等を扱う商店を営み、2階は貸間として利用されていた。別府市において2012年に策定された「文化的景観別府の湯けむり景観保存計画」において、重要な景観構成要素に位置づけられている。全体的に老朽化が進んでおり、所有者としては解体を希望している状況から、別府市教育委員会から建築物の資料を残すため、建築物の概要と平面図、立面図の作成の依頼を受けて、調査を実施した。

概要

調査については、平成27年8月29日(土)に実施し、平面測量・作図、立面測量・作図、写真撮影、所有者聞き取りなどを行いました。当日は、あいにくの雨の中、午前中から平面班(幸、籠田)、立面班(三ヶ尻、石田)、建具班(園上、上岡)、写真班(寺林)に分かれて調査を実施しました。調査終了後は、調査場所のすぐ近くにあるひょうたん温泉で汗を流し、そのまま反省会で疲れを癒しました。

また、後日、棟札調査も実施しましたが、棟札の確認は出来ませんでした。

図面作成については、平面図(1、2階)、立面図(東、北、西面)を作成し、建物の概要や現況写真を取りまとめた報告書を作成しました。

調査参加者は以下のとおり

三ヶ尻、寺林、幸(孝)、上岡、園上、籠田、石田

※敬称略



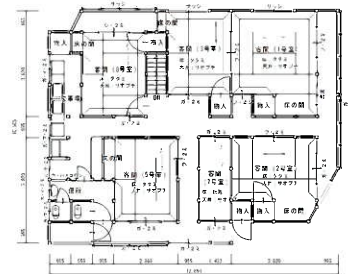
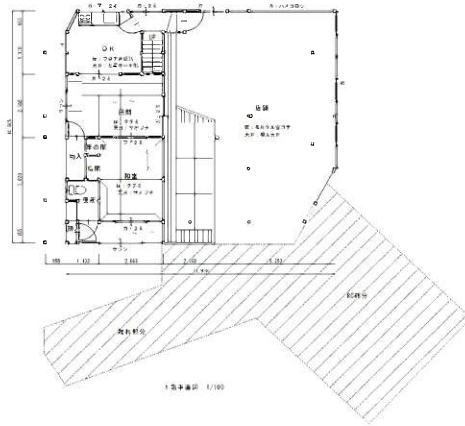
安楽屋全景



平面調査

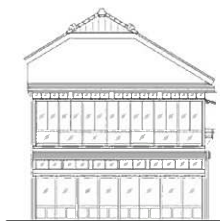


立面調査



目と記号	建具の種類
	襖(障子) 襖の扉
	襖(障子) 襖の扉
	襖(障子) 襖の扉
	襖(障子) 襖の扉
	襖(障子) 襖の扉
	襖(障子) 襖の扉

平面図



東立面図 1/100



北立面図 1/100



西立面図 1/100

立面図